



高知県立盲学校



校長室だより



No.3
令和元年 7月5日

令和元年度 第56回全国特別支援学校長研究大会

高知県はとても遅い梅雨入りとなりましたが、その後雨の日が長く続いています。九州地方では、大雨の被害が出ており、心配されます。お天気にかかわらず熱中症対策として、しっかりと水分を補給して、終業式まであと少し体調に気をつけて頑張りましょう！

6月27日28日の両日、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました全国特別支援学校長研究大会に参加してまいりました。「共生社会の実現に向けた特別支援学校の経営の在り方～新学習指導要領が目指すこれからの学校」を研究主題に、最新の国の教育行政の動向や施策等について情報を得るとともに、研修や講演会、経営課題別研究会等で、多くの事を学ぶことができました。

2日目には全国盲学校長会に参加しました。視覚障害者である幼児児童生徒等に対する教育を行う特別支援学校（盲学校）は、全国で67校、生徒数は2616名と昨年より115名減となっています。全国共通の課題である盲学校の生徒数の少人数化に対して、信頼され、選択される盲学校になるため、どのような取組を進めていくべきか、新学習指導要領の主旨も踏まえながらの取組の充実の必要性について協議を深めました。2日間の研究大会を通して、あらためて校長としての責任の重さを感じるとともに、共生社会を目指し、「生きる力」を育てる教育の充実の必要性を強く感じました。

運動会応援ありがとうございました！

6月8日（土）の運動会には、多くの保護者、ご家族の皆様にご来校いただき、幼児児童生徒に温かい大きな声援を送ってくださり、ありがとうございました。例年以上に多くの観客の皆様に応援に、幼児児童生徒も練習の成果を十分に発揮することができました。また、昨年度に引き続き高知黒潮ライオンズクラブの皆様にもご参加や、子どもたちへのプレゼントで運動会を盛り上げていただきました。

P T Aの皆様には、バザー、物品販売等にご協力いただきありがとうございました。



第21回高知県障害者スポーツ大会 ～生かそう・伸ばそう・力と技の祭典～

5月25日（土）、6月2日（日）に開催された高知県障害者スポーツ大会に、中学部2名、高等部普通科2名の計4名の生徒が出場しました。それぞれが出場したサウンドテーブルテニス、陸上競技（トラック：100m、200m、跳躍：立幅跳）の種目の障害区分（視覚障害）で、4名とも見事に1位の成績を修め、メダルを獲得しました。全国（いきいき茨木ゆめ大会）への切符を手にした生徒もあり、活躍がとても楽しみです。

開かれた学校づくり推進委員会

6月24日（月）、本校の開かれた学校づくり推進委員会が開催されました。この会は、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となって子どもたちの教育に取り組むための会で、地域の方にも委員を引き受けていただいています。

今年度は学校経営計画にも、地域貢献、地域連携に向けた教育活動の推進を掲げています。盲学校について知っていただき、理解を広げ、「応援しがいのある」学校となるよう取組を進めていくことが、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の共生社会に向けた一歩だと考え、取組を進めていきます。

令和元年度全国盲学校P T A連合会 第58回 総会並びに研究協議会

全特長の前日の6月26日、同じくオリンピックセンターで開催されました盲学校P T Aの全国大会に会長さん、副会長さんと一緒に参加してまいりました。

総会後の研修会では、「パラリンピックと共生社会」と題して、日本パラリンピアンズ協会会長、パラリンピック競泳金メダリスト、河合純一氏のユーモアあふれる熱のこもったお話を伺いました。「夢は次のアクションにつながる！光を失っても夢は失わない！」という言葉がとても印象に残りました。

